

第三十五回 中河内拓本展を終えて

田中絹子

第三十五回 中河内拓本展

中河内拓本クラブ

東大阪市立美術センター 第三展示室

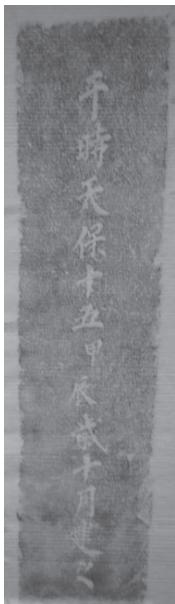
令和二年十月二十八日～十一月一日

展示作品五十二点



→ (裏面)

于時天保十五甲辰歲十月建之



→ (右側面)

左リ 京ばし

目下 たき
のざき

生駒山寶山寺

↑ (左側面)
惣世話人



→ (正面)

右 なら のざき

蕪村のふるさと都島

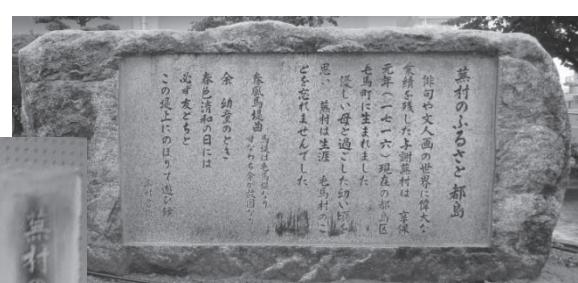
俳句や文人画の世界に博大な
業績を残したよ謝蕪村は京師
元年（一七一六）現在の都島区
毛馬町に生まれました
優しい母と過ごした幼い頃を
思ひ 蕪村は生涯 毛馬村のこ
とを忘れませんでした

春風馬提曲 馬提は毛馬提なり
すなわち余が故郷なり

余 幼童のどさ
春色清和の日には
必ず友ともと

この堤上にのほりて遊び候

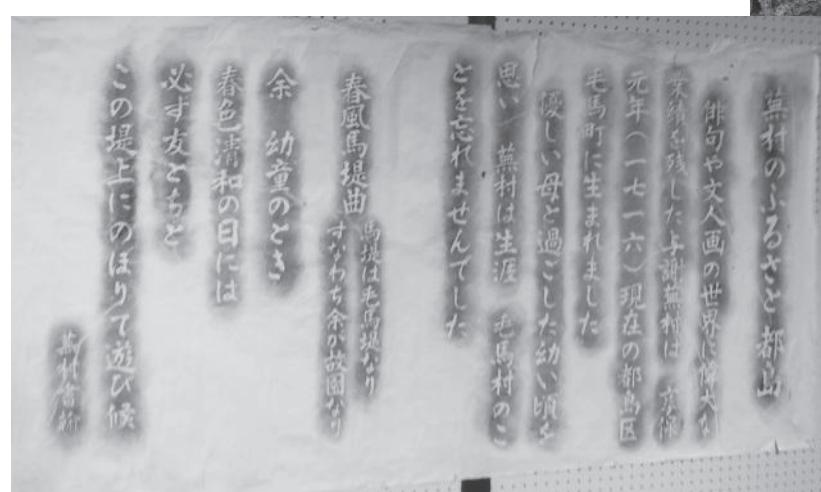
蔚村省耕



● 「蕪村のふるさと
都島」の碑

平成十三年建碑

小伏竹村書



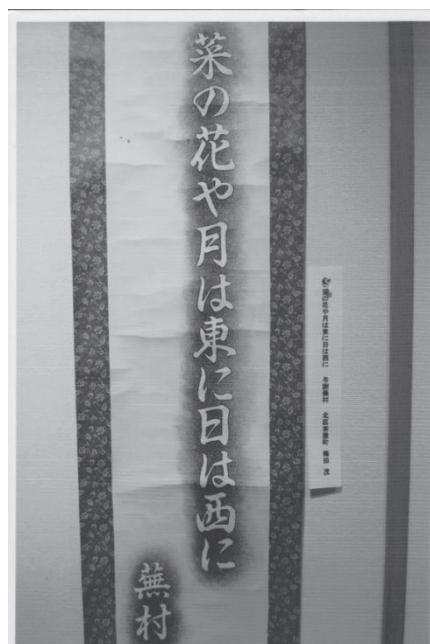
●与謝蕪村句碑



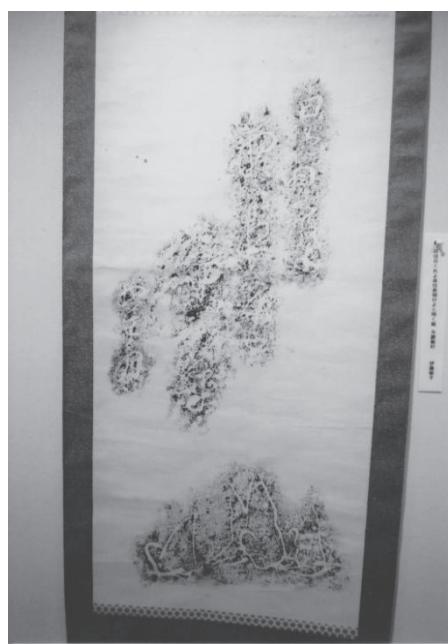
●鳥羽殿へ五六騎いそぐ野分哉
採拓地 都島区蕪村公園
採拓者 峰本順吉



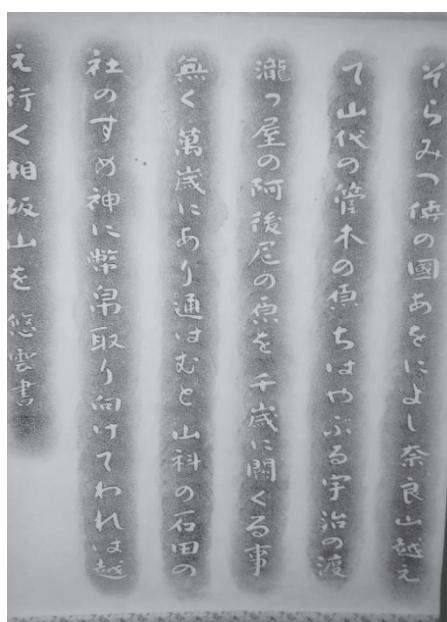
●蟲啼くや河内通ひの小提灯
採拓地 大和郡山市
採拓者 峰本順吉



●菜の花や月は東に日は西に
採拓地 北区茶屋町
採拓者 梅田 茂



●日は日くれよ夜は夜明けよと啼くかわす
夜半翁 (与謝蕪村の画号) 〔蛙三匹の図〕
採拓地 東大阪市・新喜多中学校
採拓者 伊藤敏子



●そらみつ倭の國あおによし奈良山越え
て山代の管木の原ちはやぶる・・悠雲 書
萬葉集卷第十三
採拓地 宇治市
採拓者 梅田 茂



●まだ梅の寒きに蟹のうらおもて 青々
松瀬青々句碑
採拓地 東大阪市枚岡公園
採拓者 峰本順吉

●昔は思ひつきりにコレを唄つた浅草があつたんですね

表装 金田千恵子

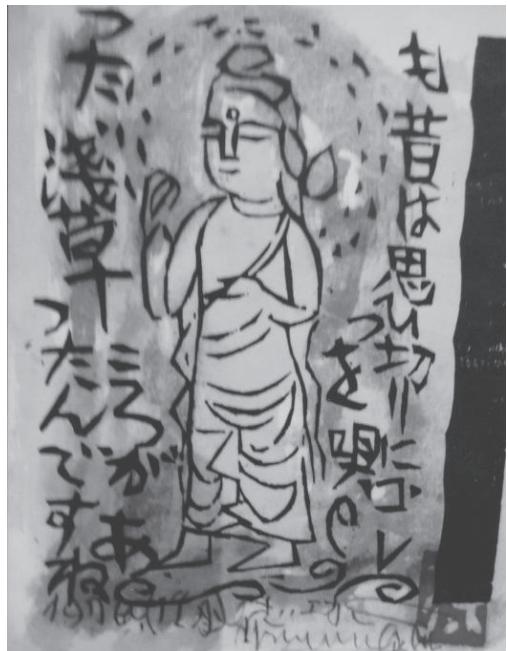
●天のはらぶりさけみれば春日なる三笠のやまに
いりし月かも

阿倍仲麻呂

採拓地 奈良市

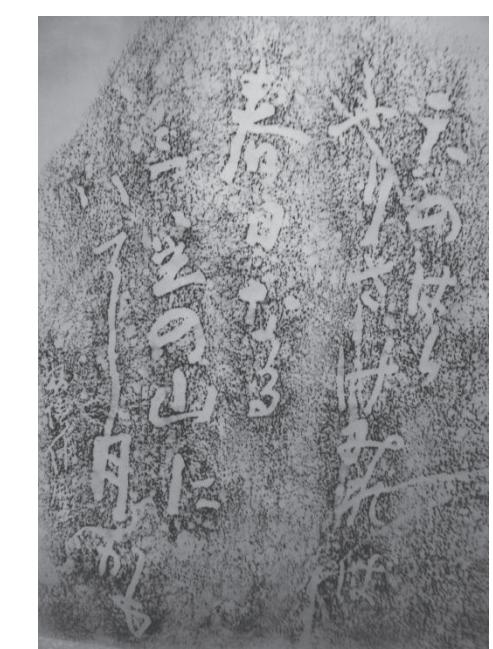
●花博公園 韓国館の壁面動物画

採拓者 峰本順吉



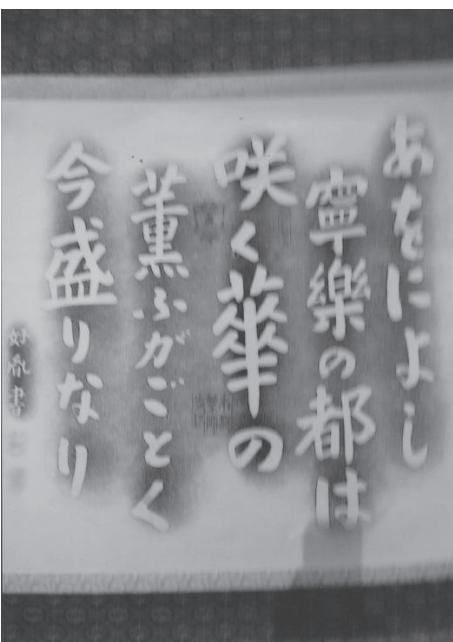
●あをによし寧樂の都は咲く華の薰ふがごとく今盛り
なり

採拓地 奈良市
好胤書



●円仁法師 湯郷温泉の発見僧

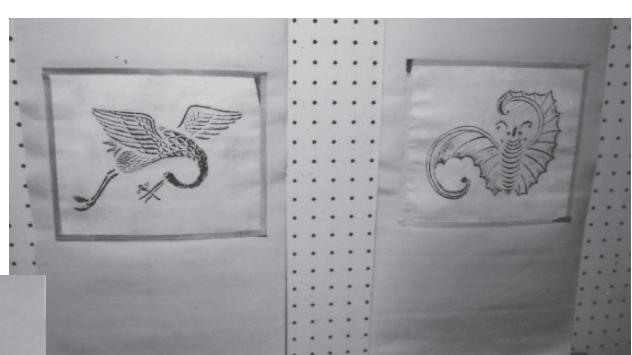
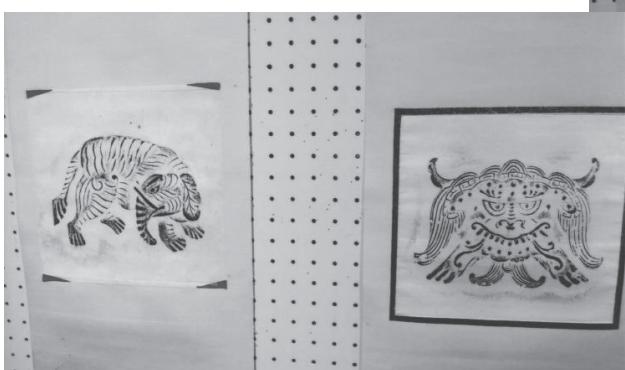
採拓地 岡山県湯郷温泉
採拓者 峰本順吉



あをによし
寧樂の都は
咲く華の
薰ふがごとく
今盛りなり



あをによし
寧樂の都は
咲く華の
薰ふがごとく
今盛りなり



44

● 大阪市天王寺区

真田山公園の花鳥図

採拓者 梅田 茂



● 紫蓮尼墓 辞世 住はてぬ世とはしるしる墨染の立
わかるるぞ更にかなしき

採拓地 東大阪市太龍禪寺墓地内
採拓者 田中絹子



● 法然上人 智者のふるまいをせずしてただ一向に念
仏すべし
「一枚起請文」

採拓地 京都市
採拓者 金田高明



● 温泉めぐりして戻りし部屋に桃の活けてある
河東碧梧桐

採拓地 松山市道後
採拓者 永重信江



今年はサークルセンター室で例年通りには勉強がで
きませんでした。普段の何気ない日常の生活の大切さ
を痛感しております。

(中河内拓本クラブ)